

みなさまの応援で滋賀を元気に！

令和7年度 滋賀応援寄附活用事業のご報告

みなさまからいただいたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。
ご支援ありがとうございました！



子どもたちの健やかな育ちを守ろう

寄附金活用額 55,317千円

〈滋賀で誕生ありがとう事業〉

・生まれた子どもやその御家族へ「生まれてきてくれてありがとう」「元気に育ってね」という気持ちを込めて、滋賀ならではのオリジナルの品物や企業協賛品等をお届けしました。

・寄附金の一部(3,112千円)は基金に積み立て、令和8年度の「フリースクール等民間施設利用者支援事業費補助金」に活用する予定です。



滋賀県の大学を応援しよう

寄附金活用額 8,047千円

- ・指定いただいた各大学が実施する特色ある人材育成に向けた取組への支援に活用しました。
(一例:びわこ成蹊スポーツ大学において、プロスポーツチームに従事するスタッフの育成を目的とした施設見学・講座を実施)
- ・また、県内大学が実施する理系的素養をもつ人材のすそ野拡大につながる取組への支援にも活用し、8,000名以上の子どもたちに理系人材育成体験プログラム事業を行いました。
- ・このほか、寄附金の一部(7,047千円)は基金に積み立て、今後も各大学の取組への支援等に活用する予定です。

子どもたちに「高専」という新たな選択肢を

寄附金活用額 4,221千円

・学生確保に向けた広報活動や教員の確保など、県立高専の設置準備に活用しました。

Shiga College of Technology
滋賀県立高専



県立高専HP



Instagram



Facebook



県立学校を応援しよう

寄附金活用額 18,812千円

- ・指定いただいた各学校で考えた取組事業を実施しました。
(一例:石山高校の「部活動の充実」でバドミントンのラケットやゴールハンドルを購入)



- ・またこのほか、寄附金の一部(16,590千円)は基金に積み立てて、今後、指定いただいた各学校で考える取組事業において活用する予定です。

子どもたちに読書のよろこびを

寄附金活用額 5,764千円

- ・絵本を中心に、児童書約3,000冊を購入しました。
- ・ページが外れるなど傷みが激しい絵本等の買い直しを行ったほか、新しい絵本も2冊目を購入することができました。
- ・おかげさまで多くの本が生き返り、子どもたちがさまざまな絵本・児童書と出会う機会を増やすことができました。



学習船うみのこを応援しよう

寄附金活用額 1,437千円

- ・学習船「うみのこ」での児童学習航海を、県内全小学5年生を対象に1泊2日の航海を102回実施しました。
- ・プランクトン観察や水の透視度調査等の「びわ湖学習」を通じて、児童の環境に主体的に関わる力を育成できました。
- ・寄附金の一部(35千円)は基金に積み立て、今後も「びわ湖学習」等の活動に活用する予定です。



大阪・関西万博での貴重な体験を 滋賀の子どもたちに

寄附金活用額 556千円

- ・令和7年に開催された大阪・関西万博に、滋賀の子どもたちを招待しました。
- ・訪れた子どもたちの約6割が「世界の国に興味を持った」、約4割が「未来の地球や社会がどうなっているかに興味を持った」と回答し、万博を通じて世界の技術や文化に触れた子どもたちの夢が広がりました。



子ども×大人でつくる滋賀の未来 こどなBASEを応援！

寄附金活用額 2,032千円

- ・滋賀県に関わる様々な企業・団体が、将来社会の担い手となる子どもと共に未来をつくるため、自社の魅力/想い/強みを子どもに伝えられる体験プログラムの企画や実施を伴走支援する取組「こどなBASE」に活用しました。
- 体験プログラムを66回実施し、2,100名以上の県内の子どもたちに体験を届けることができました。



子どもが集う矢橋帰帆島公園を応援しよう

寄附金活用額 931千円

- ・矢橋帰帆島公園「子どもの広場」で使用禁止となっている遊具のリニューアルに活用しました。
- ・令和7年度のご支援により、小さな子どもでも安心して楽しめる「幼児遊具エリア」が完成し、令和8年3月末に先行オープンしました。

全面リニューアルオープンは、令和9年春を予定しています。



暑さに負けるな高校生の青春の夏！

R8近畿インターハイを応援しよう

寄附金活用額 2,941千円

・この夏のR8近畿インターハイの総合開会式と滋賀県開催7競技9種目への大会参加者の熱中症ゼロを目指し、氷の購入や仮設クーラー設置等の暑熱対策に寄附金を活用しました。



R7中国インターハイ 競技種目別大会の様子
(写真提供:P&P浜松)

すべての犬と猫の幸せを願って

寄附金活用額 9,955千円

- ・人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けて、地域猫活動の支援や適正飼養の普及啓発を行いました。
- ・犬猫の譲渡を推進するため、ワクチン代や検査キットなどの動物用医薬品代、哺乳期に必要な飼料や器具代に活用しました。
- ・また、寄附金の一部(5,805千円)は基金に積み立てて、今後、共生社会の推進や飼養環境の改善に向けた事業に活用する予定です。

国スポ・障スポを応援しよう

寄附金活用額 6,911千円

- ・昨秋、滋賀県において『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ』を開催しました。
- ・大会に向けた次世代アスリートの発掘・育成・強化を行いました。
- ・ブース出展、会場装飾など大会来場者へのおもてなしを実施しました。



競技体験プログラム（アーチェリー）

国スポ総合開会式会場

びわ湖マラソンを応援しよう

寄附金活用額 4,293千円

- ・びわ湖マラソンがより多くの方々に愛される大会となるよう、近江牛ローストビーフや湖魚の佃煮、サラダパンなど滋賀県ならではの給食・給水の充実や、来場者へのおもてなしなど、大会運営のために活用しました。



世界農業遺産「琵琶湖システム」と美しい棚田を未来へ

寄附金活用額 2,769千円

- ・世界農業遺産「琵琶湖システム」を保全し次世代に継承するため、産学官連携によるメニューブックの作成や、環境保全をテーマにしたイベントを開催しました。

小中学校・高校・大学・各種団体等を対象とした出前講座や、都市圏での農山漁村のプロモーション活動の実施、湖魚と県産農産物を掛け合わせた「びわこ湖魚グルメ」を開発しました。

- ・中山間地域等直接支払交付金に充て、「棚田等の保全」、「水路や農道の維持」、「農業生産の継続」等、豊かな農村の恵みを維持する取組を支援し、棚田地域の振興を図ります。



近江の地場産業と伝統的工芸品を応援しよう

寄附金活用額 2,325千円

・滋賀県の伝統的工芸品や地場産業の逸品が一堂に会する「Feel Kita-Biwako! ～由緒新創～」を開催し、展示、販売、職人の製作実演や、製作体験を通じて、滋賀県の伝統的工芸品や地場産業の魅力を発信しました。



近江牛を日本一に

寄附金活用額 5,132千円

・将来にわたり選ばれる近江牛であるために、「牛よし」「人よし」「社会よし」の“三方よし”の近江牛生産や、滋賀県生まれ、滋賀県育ちの近江牛づくりを推進するための取組に活用しました。



観光の力で地域を笑顔にしよう

寄附金活用額 2,040千円

・2025年に開催された「大阪・関西万博」や「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を契機とした観光キャンペーン「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」を展開し、全国に向けた情報発信やイベントの開催など、様々なプロモーション活動に活用しました。



新しい琵琶湖文化館と共に文化財を次代につなごう

寄附金活用額 5,369千円

・令和9年12月開館予定の新しい琵琶湖文化館の整備事業に活用しました。

・琵琶湖のほとりで百年、千年を超えて受け継がれてきた仏教美術や伝統文化といった「滋賀の宝」を、次世代へ継承する事業を推進していきます。



滋賀の文化芸術を応援しよう

寄附金活用額 1,125千円

・県内小学生等をびわ湖ホールに招き、子どもたちが舞台芸術に直接触れる機会を提供する「ホールの子事業」に活用させていただきました。

・1万2千人を超える児童・生徒に、京都市交響楽団とびわ湖ホール声楽アンサンブルによる一流の演奏をお届けすることができました。



滋賀のがんばる医療・福祉・感染症対策を応援しよう

寄附金活用額 3,236千円

・新型インフルエンザ等感染症発生時に医療機関が使用するマスクやガウン、医療用手袋などの个人防护具を県で備蓄しており、その購入費用の一部に御寄附を活用しました。



県立病院を応援しよう

寄附金活用額 2,338千円

・県民の期待に応える質の高い医療を提供するため、高度医療機器の整備費として活用しました。
・なお、寄附金の一部(313千円)は基金に積み立て、今後の施設環境整備に活用する予定です。



〔整備機器一例〕

血液ガス分析装置：血液中の酸素・二酸化炭素濃度、pH（酸塩基平衡）などを迅速に測定するための装置。

CO₂ネットゼロ社会を実現しよう

寄附金活用額 1,714千円

・次世代を担う若者が、CO₂ネットゼロに資する取組を行う企業等取材し、若者の感性を活かして県SNS等で発信することにより、CO₂ネットゼロの取組を「見える化」し、県民等に周知することで「自分ごと化」「行動変容」を進めました。



美しい琵琶湖を守ろう

寄附金活用額 31,982千円

・琵琶湖の豊かな生態系を取り戻すため、外来魚回収ボックスを設置する等、外来生物の駆除活動を行いました。
・オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の駆除を行いました。

・大気環境に係る調査項目を測定する装置(炭化水素自動測定機)を購入しました。



滋賀県とミシガン州との国際交流を応援しよう

寄附金活用額 447千円

- ・彦根市にある国際交流の拠点であるミシガン州立大学連合日本センターでの取組および施設整備に活用しました。
- ・同センターでは、令和7年度は109名のミシガン州からの留学生に対して日本語を学ぶプログラムを提供しました。
- ・留学生の県内企業へのインターンシップや県民との交流行事を通じて国際交流を進めました。



琵琶湖博物館を応援しよう

寄附金活用額 1,287千円

- ・「出あい、学びあい、琵琶湖を世界へ発信する博物館」を目指し、国内外への情報発信や館外でのイベントを行いました。



「やま・森」を楽しもう

寄附金活用額 889千円

- ・近江富士花緑公園の管理・運営に活用しました。子どもからお年寄りまで、四季を通じて「やま・森」を楽しんでいただきました。



滋賀県の公園を魅力あふれる「THEシガパーク」に！

寄附金活用額 441千円

- ・THEシガパークの魅力を広く広報啓発するため、公園を巡るスタンプラリーやフォトコンテスト等、プロモーションに必要な経費に活用させていただきました。



【フォトコンテスト大賞作品】

戦争の悲惨さや平和への願いを次世代へ語りつこう

寄附金活用額 603千円

- ・戦争の悲惨さや平和への願いを次世代につなげていくため、滋賀県平和祈念館の第37回企画展示「記憶の中の戦場・中国」および第38回企画展示「戦争を描く」に活用しました。



近江の安全・安心応援プロジェクト（交通安全・防犯・犯罪被害者支援）

寄附金活用額 686千円

・地域全体の犯罪防止、
子どもの通学路の安全・
安心などを見守る防犯
カメラを設置するための
事業費の一部として活用
しました。

（生活安全企画課）



・県内各警察署における
交通安全啓発活動に必要な
資材の整備に活用しました。
県民の皆様の交通安全意識
の向上を図り、交通事故防止
に役立てています。

（交通企画課）



・防護柵の更新、路側帯のカラー舗装化、
路面標示外側線の引き直し等のハード面
やルール・マナーの徹底などのソフト面の
両面から、交通事故防止対策に取り組み
ました。

（道路保全課）

・24時間365日性犯罪・性暴力被害
についての相談を受け付け、被害に
あわれた方がさらに傷つくことがな
いようワンストップで支援する
「性暴力被害者総合ケアワンストップ
びわ湖（SATOCO（サトコ））」の運営
事業費の一部として活用しました。

（県民活動生活課）

滋賀県をもっと元気にするため、持続可能な滋賀県であるため...

滋賀県では、皆さまからのご支援をお待ちしております。

お問い合わせ

滋賀県 総務部 行政経営推進課 営業戦略係

【住所】〒520-8577
滋賀県大津市京町4丁目1番1号

【e-mail】 shigaouen@pref.shiga.lg.jp

【TEL】077-528-3298 【FAX】077-528-4827

今年度の活用予定は
ホームページで
ご案内しています。



滋賀応援寄附
ホームページ

